

1 開会のことば（進行）

18:30

2 運営協議会長あいさつ（会長）

- ・ 忙しい中お越しくくださりありがとうございます。今年度最後の運営協議会です。今まで方針などはご覧になったと思いますので、できるだけ話をスムーズにしていきたいと思います。
- ・ 来年度の計画も出ています。いろいろなご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

3 学校長あいさつ

18:33～18:35

- ・ 昨日、会議があった。昨日もお越し頂き感謝、連日会議に御参加いただきありがたい。
- ・ 3月7日公立高入試になった。感染症への対応として予備日を設けたことにより、公立校入試日が前にきた。卒業式の日程は3月16日で変わりはない。
- ・ しっかり学びしっかり終了できるようサポートしていきたい。残りわずかだが、学年の学習内容をしっかり学べるように、9年生はしっかりと卒業できるようにサポートしていきたい。
- ・ 4年生が前期ブロックのリーダー、3年生に1年間こういう活動をしてきた私たちがやれた活動はこれで、私たちの課題はこれだ、来年の4年にはこれをお願いしたいということを一時間かけて説明する会があった。参加させてもらったが、他校では6年生がやる仕事を4年生がその役割を務めている。ほかの学校よりも2年早くリーダーの大変さを経験できる、その役割をしっかりとこなしてくれているということはいいことだなと思って拝見した。それに加えて4年生に話をしたが今回悩んで失敗したかもしれないが、これから7年生・8年生・9年生と3回のリーダーを体験できる。今回できなかったことを7年生で頑張ればいいのではないかと、頑張ることを続けてほしいなと伝えた。このように低学年から心を育てていく、人間力を育てるということを常に育てていって、9年間でしっかりと育て卒業させていきたい。

今回経営方針についてご承認をいただく会となっている。忌憚のない御意見をいただければ、来年度の方に生かしていければと思っている。今日はよろしくお願いいたします。

4 日程説明（進行）

18:35～18:36

- ・ 協議に先立ち3名が欠席である。その中での承認となるのでよろしくお願いいたします。
- ・ 連絡のところにあることを先にお伝えしたい。P10をご覧いただきたい。第3回の協議会の記録についてですが、昭和地区高速道路の話をした時に委員名を誤り配付しました。記載の通り訂正させていただきたい。申し訳なかった。できるだけ誤記録のないよう、今日の内容を録音させていただくのでご了承願いたい。

5 協 議 （座長：運営協議会長）

(1) 令和4年度運営協議会による学校評価のまとめについて

【教頭より説明後、質疑応答】

※ 質疑応答なし。

- 委員 : 委員の皆さんからいろいろな御意見をいただいた中でも高評価だったと感じる。課題もあると思われるがこれから話し合いを行っていきたい。何か評価について御意見等はないだろうか。意見等ないので、委員の皆さんの評価結果ということで質疑を終了することについて御理解をお願いし、次に進みたい。

(2) 令和5年度学校経営方針の承認について

18:42～18:45

- 教頭 : 経営方針については事前に十分に検討しているので、ここで意見や質問がなければ承認していただきたい。
- 委員 : これまで経営方針について確認していただいているので、質問等なければ承認について審議したいがいかがか。

※ 質問・意見等がなく満場一致で承認。

(3) 令和5年度学校運営協議会年間計画について

18:45～18:48

【教頭より計画（案）を説明後、質疑応答】

※ 質疑応答なし。

- 委員 : あいさつ運動の時期、第2回目協議会のワークショップやグループワークを行い、貴重な意見をいただいた。あいさつ運動の時期や協議会の内容なども踏まえて、年間計画について意見等はないか。
- 委員 : 特にないようなので、令和5年度の年間計画は提案通りすすめていきたい。

(4) 令和5年度運営協議会委員について

18:48～18:53

【教頭より委員（案）を説明後、質疑応答】

- 委員 : 来年度も現委員の皆さんでお願いしたい。
- 委員 : 3月で定年。次の所長になるのだろうか。自分も地域に住んでいるので地域の代表ということで出席は可能だが。
- 委員 : 上限は20名だが、参加も地域の方なので、特段問題ないとなれば、1年間を踏まえて2年目も委員を務めていただきたいが、個別の相談に応じる。
- 委員 : 自分も、元がつくだけで来年度も。

- 委員 : 引き続きお願いしたい。
- 委員 : 新PTO会長を入れるという規約はあるのか。
- 委員 : そこまでの規約はない。学校さんの考えだが。
- 教頭 : 前回は、PTO会長を退かれた会長さんには委員さんを継続してお引き受けいただいた。
- 委員 : いろいろな代表者や長のついた方が協議会委員になっているが、ついていない方でもいいのか。自分がこの委員をやめたときに長がついている人に頼むのか、今から心配している。
- 委員 : 衛生組合長とか頼んでいただいてよいが、来年度も委員に頼みたい。

(5) 運営委員より

18:53~19:10

- 委員 : 以前から気になっていたことではあるが、こくの医院前のバス停において生徒がバスを待っている見栄えがよくないということは前からあった。その時にバス停の移動も話があった。ツルアメとか薬王堂付近にバス停を移動する話だった。その後聞いたところ、高齢の方にとっては病院が近く都合がいいとのことだった。ここにバス停があると阿部医院にも行きやすくてよいとのことだった。今は、時代も変わってきているので、バス停を利用する高齢の方も少ないので山交と交渉したり、ツルアメや薬王堂とも交渉を考えていいと思う。
- 委員 : 学童には4年生もいて、下の学年の面倒よく見てくれる。3年生が来年は何委員会になるかと楽しそうに4年生と話をしていた。今日の会を興味を持って聞いていたと感じる。言葉遣いが気になる子がいる。ちょっと言葉遣いが悪い。注意はしているが、簡単に死ねという。友達とか大人にも「黙れ、うるさい」といっている。その点をみんなで注意していきたい。
- 委員 : 来年度からコロナ禍以前のようにここの体育館を使わせていただき勉強やいろいろなスポーツを経験できるようにしてもらいたい。コロナがどうなるかわからないが使えるとありがたい。ご検討をお願いしたい。
- 委員 : 今年初めての参加だったがいろいろな意見を言わせていただいたが、前向きに対応していただきありがたい。来年については放課後子ども教室にも行っているので勉強について、子どもたちから情報を得てお伝えしていきたい。
- 委員 : 来年もよろしくお願いしたい。
- 委員 : なかなか学校の中身について勉強不足で意見を言える立場ではないが。防犯の方から言うと朝夕のパトロールをしていると笑顔が多くな

ったと感じる。保護者の対応が変わったからと考える。自分も変わらなければと考える自分も笑顔で手を振っている。今朝、高校生が猫を殺す、エスカレーターして人を殺す、そんな時代になった。なんでだろうと考えてしまう。私も心配している。防犯カメラをつけるなど対策を考えていると思うが、学校としても防犯に対する取り組みがあれば教えていただきたい。

- 校長 : 学校でやっていることは、扉を施錠する。中間・昼休み後は巡視をして施錠する。新聞記事を印刷して配布した。校長室内にはバケツに軟球のボールを20球程度置いている。不審者が来たら投げるように自分なりに準備している。防犯については、災害に対する対応、不審者に対する対応訓練もこれまで行った。今年度は災害対応を実際に行った。また、警察署の方に来てもらい不審者訓練を教員のみで行って、どう対応するか訓練していきたい。
- 委員 : 防犯カメラを設置するのは難しいか。
- 教頭 : 通学路に防犯カメラを設置する話は聞いたことがあるが、その後どうなったかわからない。
- 委員 : これからは高速道路もつながったことで、ここは安心だとは言えない。東京から5.6時間で来れるようになった。そのような事件があったら、どう対応したらよいか考えてしまう。市からの援助に期待したい。
- 委員 : このような報道をきき衝撃を受けたところである。
- 委員 : 今年度も協議会にご協力をいただき感謝している。ワークショップではいろいろな意見をいただいた。無事に協議会を終えることができ安心している。協議会に参加していると地域のつながりの深さを感じる。皆さんの協力の姿勢も感じた。つながりの中で学校が頑張ってくれている。学校と一緒に協力してもらえればと考える。今後とも協力をお願いしたい。
- 委員 : みんなの結束が素晴らしいと感じている。萩野学園の取り組みとしてあいさつ運動を積極的に行っていることや、生徒一人一人とかわりを持って見守っている活動が素晴らしいと感じている。地域活動に対し様々な取り組みを行っていることが素晴らしいと感じた。様々な防犯の取り組みを行ってもらっていて素晴らしいなと思った。先日、図書館でも危機管理訓練をしたが、有効な対策としてパイプ椅子を一つ置いておく何かあったときそれを盾にして守っていくことができると聞いた。図書館にも防犯カメラを設置している。様々な方が来られるので玄関ほか4台、市民の皆さんの安心安全につながればと思っている。設置していることは告知もしている。とても有効だと思っている。つけてもらえればと考える。ジェンダーフリーについてだが、あるとき、図書館にきた男性が、女子トイレに入ったということを来客から言われた。よく聞いてみるとその方はずーと女子トイレに入って

いると話してくれたが、男子トイレには入りにくいとも話してくれた。中学生から性的マイノリティへの対応や配慮をしていく必要性を感じた。障がい者トイレを「だれでもトイレ」と表記を変えたら、いろいろな利用者が利用でき、様々なハードルが下がりデリケートな問題にも対応できると考えた。学校でもやってみてはと話をお聞きし考えた。

○ 校長 : 学校では、昨年度から障がい者トイレをいつでも使えるようにした。カギをかけないようにフリーにして誰でも入りやすい配慮を行っている。

○ 委員 : 今年一年参加させてもらって、保護者としてまた、会長として参加している。今、年長の子どもがいるが、これだったら自分の子どもを通わせたい環境だなと思っている。ただ、国道に自宅があるが、交通量が増えている。安全にはなっていると思うが、自分の時代より多くなっているので事故がないか心配している。少子化の問題もあるが、集団登校していれば、車からも子どもの様子が見え注意もできるが、一人や二人で登下校することになると心配なので早く帰ってくるよう、危なくないよう言っている。

○ 委員 : 私もバス通学をしていた。こくの医院のバス停での生徒の気持ちはよく分かる。学校から歩いてバス停に向かい暑くなったので、地面に寝ることは自分の頃はなかったと思うが、停留所で地面に横になるのはどうなのかと感じた。改善するにはバスの出発時間に合わせた下校はできないかと考える。例えば、3分前につくとかの対策はとれないかと思う。時間に余裕があると今回のように地面に寝てしまうので、そのような対策が取れないかと考えた。また、トイレの件は、私も学校で大便所を使っているとみんなから様々言われて恥ずかしかった。休憩時間に行くと恥ずかしかったので授業中にトイレに行っていた。その時に身障者トイレがあればよかったなと話をお聞きし感じた。いい時代になったなと感じる。

○ 委員 : 小さな子のコミュニティは難しいと感じる。自分たちでは良い悪いの判断ができて、人の意見に流されるということがコミュニティの中ではあると思う。その中で反対するといじめだとかにつながることもある。先ほどのジェンダーフリーの話もそうだが、人と違うことをすることは難しいのが子ども中にもある。その中で、タブレットの使い方について、先生方にいろいろな形で報告できるようなものがあればいいと感じた。ただ学校の中で、報告するとなるとはぶられる、子どもたちの中のコミュニティから外されるという形につながると思われる。そういった子どもたちが先生方に報告することに使えないかなと考える。

○ 委員 : 来年度アフターコロナもあるが、さきほどの年間計画にもあるが、みんなで考えて取り組んでいきたい。令和5年度もお願いしたい。

(6) その他

19:10~19:18

○ 委員 : 子どもを理解するには自分たちも子供を理解していかなくてはと感

じた。トイレのこともそうで、男性が女性トイレに入るのは悪いが、女性が男性トイレに入るの悪くないという考えもある。どのように付き合っていかなければならないか考える。

- 委員 : 自分たちもあったが、難しい時代だと感じる。
- 校長 : タブレットについて委員からの提案のような使い方はできるか
- 委員 : 昔学校と先生との双方向通信があったと思うが、学校で話すことは難しいと思うが、タブレットを使って話すことができれば言い易くなると思った。他の子どもに見られないようにならないかと思った。
- 校長 : 子どもたちが家に帰ってから学校でこういうことがあったということ打ち込んで話せばいい。担任しか見ることができないようにならないのかということか。
- 教頭 : チームスでもやれることはやれるが。いろいろなチャンネルを増やしていかなければならず、担任にとって複雑になってくる。メールアドレスは、今、家でほかの人たちと交流できるようになるのはまずいということで市では、アドレスを切っている。
- 委員 : LINEのようにグループでなく、生徒と担任がマンツーマンでつながればいいと考える。
- 教頭 : 可能ではある。
- 校長 : 目安箱がタブレットにあればいいということ何だろうか。目安箱の投書は自由、見るのは権利のある人だけ、検討してみる。

7 連絡等

19:18~19:19

- (1) その他
特になし

8 閉会のことば (進行)

19:20